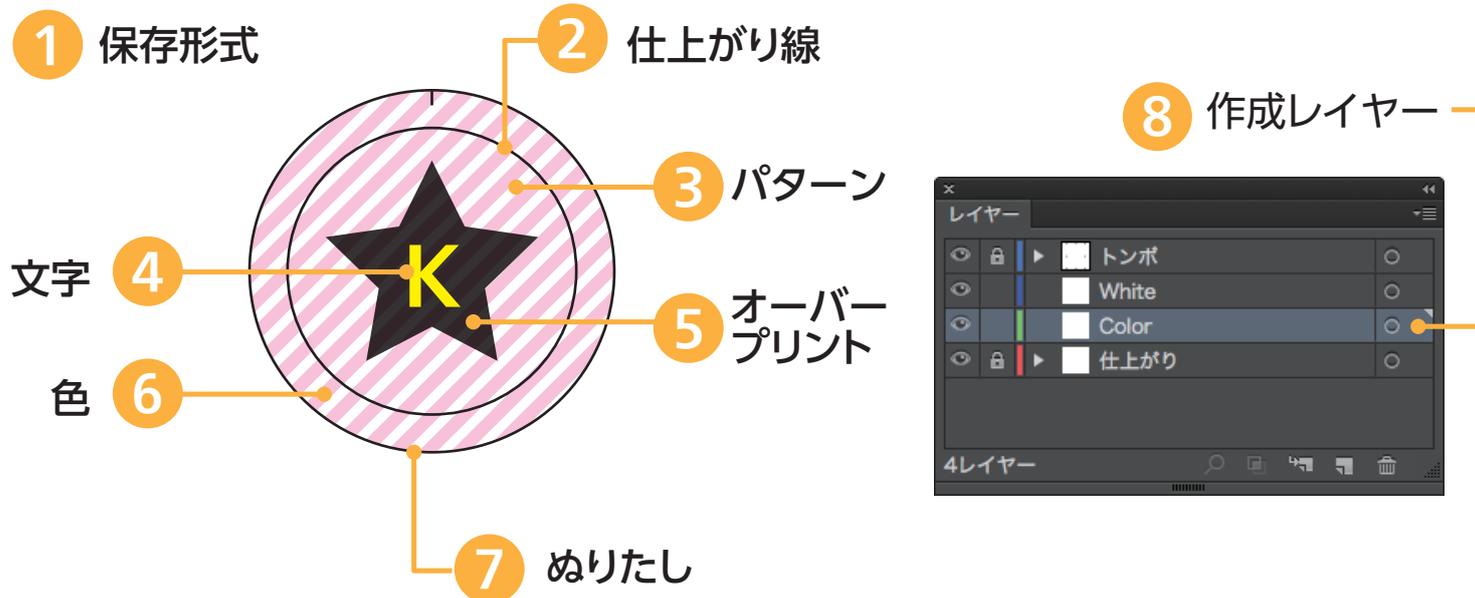


※完全データとは、当社で手を加える必要のないデータのことです。

Adobe Illustrator 用 カラーデータ作成時のチェックポイント

例：缶バッジ



保存形式 ① AI形式もしくはPDF/X-4形式で保存して入稿してください。

仕上がり線 ② 内側の円のラインで型抜きします。切れてはいけない文字やデザインはラインより3mm内側にデザインしてください。

パターン ③ パターン機能を使用した場合、必ず「分割・拡張」の処理を行って下さい。

文字 ④ 文字には必ずアウトラインをかけてください。

オーバープリント ⑤ K100%のみオーバープリントが適用され、下の色が透けて見えてきます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を1%足してください。

色 ⑥ 特色設定のないCMYKデータで作成してください。

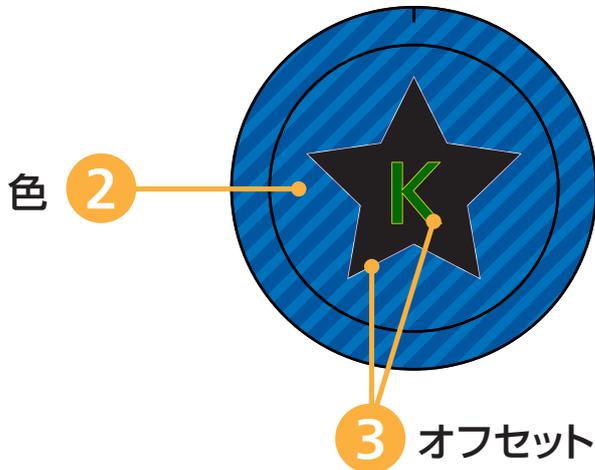
ぬりたし ⑦ 仕上がり部分まで絵柄がある場合は、仕上がり部分より5～7mm外側までぬりたしをつけてください。

作成レイヤー ⑧ 「Color」レイヤーに作成してください。レイヤーの「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。

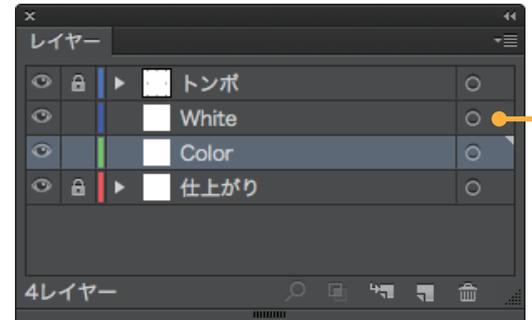
Adobe Illustrator 用 白データ作成時のチェックポイント

例：缶バッチ

1 保存方法



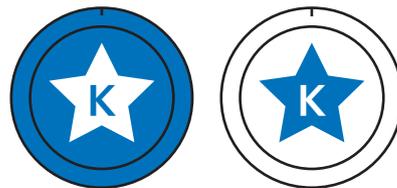
4 作成レイヤー



全面白版のみ、弊社でご用意いたします。入稿時にご指示ください。

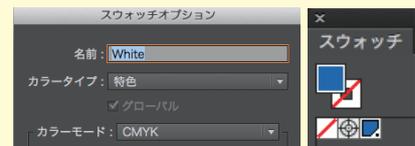


このように部分的白がある場合はデータをご用意ください。



保存方法 **1** カラーデータのレイヤーと、**白データのみ**のレイヤーにレイヤー分けて保存してください。データが複数の場合は1つのフォルダにまとめて圧縮(zip)して入稿ください。

色 **2** 白くしたい部分には**特色White**(C100%、M50%)を適用してください。テンプレートのスウォッチパネル内にご用意しておりますのでこちらをご利用ください。



オフセット **3** カラーデータと白データがピッタリ同じサイズだと、印刷時の素材の伸びで絵柄から白がはみ出してしまいます。必ず**パスのオフセット**をして下さい。
方法：①効果→パス→パスのオフセット②オブジェクト→アピアランスを分割

K ⇨ K **部分的に白を印刷したい**
カラーデータよりも**-0.1mm内側**に小さくすると、より綺麗な仕上がりになります。

K ⇨ K **白を白として見せたい**
カラーデータよりも**+0.1mm外側**に大きくすると、より綺麗な仕上がりになります。**-0.1mm内側**に小さくしてしまうと、背景と白の間に透明な隙間が生まれる可能性がありますのでご注意ください。

作成レイヤー **4** [White]レイヤーに作成してください。
レイヤーの「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。

詳しい内容は Web に → <http://www.kasamart.jp/>